

基本課題9 国際理解・国際協調の推進(課題20～21)

課題20 男女共同参画に関する国際協調の推進

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	市民窓口課所見	H24年度の審議会における意見・評価	
44	海外の男女共同参画に関する国際的な取組の収集と提供	広報・啓発活動	市民窓口課	【実施内容】 「出前講座」のメニューに「外国の生活・家庭事情」を加えるとともに、FM等で周知に努める。 講師：市国際交流員	【計画どおり実施】 「男女共同参画出前講座」のメニューに「外国の生活・家庭事情」を掲載し、1月19日に実施した。 また、FMにて、啓発を行った。	【評価理由】 計画どおり実施した。	A			A
45	海外の男女共同参画に関する図書等の提供の充実	海外の男女共同参画関連資料の収集・提供	生涯学習課 (図書館)	【実施時期】通年 【内容】・インターネット関連サイトなどにより入手可能な資料を情報収集・提供していく 【工夫すること】関連サイトや、「女性問題図書総目録」・「新刊案内」等から、最新の海外の男女共同参画に関する情報を収集し、関連図書・冊子等を収集、提供していく。 【目標値】海外の女性問題、男女共同参画の取組みや状況がわかる資料を収集・提供していく。去年は受入が5冊、今年は6冊以上の受入を目指す。	【計画どおり実施】 【内容】インターネット関連サイトや女性問題関連の目録・新刊案内情報等を参考に海外の関連資料を収集し提供した。	【評価理由】 目標の6冊を受入する事ができた。 【課題等】 海外の最新情報も提供できるように工夫していきたい。	A			A

課題21 男女共同参画の視点に立った国際交流・理解の推進

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課 評価	市民窓口課所見	H24年度の審議会における意見・評価	
46	男女共同参画の視点に立った国際交流・理解を推進する講座等の実施	世界のキッチン (国際料理教室)	地域経営課	<p>【実施時期】5月から月に1回(全11回)予定</p> <p>【実施対象】高校生以上</p> <p>【内容】国際交流・理解をより推進するため、座学だけではなく料理という実習を取り入れることにより異文化、生活様式への理解が深まる。併せて、男性・女性を問わず料理への関心が高まることや機会を提供することにより、男女共同参画への動機付けを図るため、世界各国の食文化を学びながら、誰でも簡単にでき、家庭でも作ってもらえるような内容とする。</p> <p>【工夫すること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三条マルシェに毎回出店し、チラシを配布して広く周知に努める。 ・家でも作ってみたいような内容にする。 	<p>【参加者数】</p> <p>220人(男性11人、女性209人)</p> <p>5月…メキシコ料理 14人</p> <p>6月…キューバ料理 10人</p> <p>7月…インド料理 21人</p> <p>8月…アメリカ料理 14人</p> <p>9月…タイ料理 12人</p> <p>10月…スウェーデン料理 18人</p> <p>11月…ウクライナ料理 16人</p> <p>12月…クリスマス菓子 17人</p> <p>1月…アメリカ料理 17人</p> <p>2月…イタリア料理 42人</p> <p>3月…韓国料理 39人</p>	<p>【評価理由】</p> <p>参加者は多いものの、男性が少ないため</p> <p>【課題等】</p> <p>従来の講座と比較して、多くの参加者があり本来の目的である国際交流・理解に対しては概ね達成している。しかしながら、男性の参加者が5.8%と想定していたより少なく、男女共同参画の意識としては不十分と考えている。来年度は男性が多く参加し、国際理解を深めながら、同時に男女共同参画の意識向上に資する内容としたい。</p>	C		男女共同参画の視点に立った国際交流事業を実施いただきたい。	C

No	施策	事業名	担当課等	実施計画内容	実施状況	問題点、課題等	担当課	市民窓口課所見	H24年度の審議会における意見・評価	
							評価			
46	男女共同参画の視点に立った国際交流・理解を推進する講座等の実施	多言語交流サロンの実施	商工課 (勤労青少年ホーム)	【実施時期】 平成24年4月～25年3月 毎週木曜日 午後7時30分～9時 【実施対象】 15歳以上35歳未満の青少年 【内容】 男女共同参画の視点に基づき、交流を通じて諸外国の実情等を認識し、お互いに理解を深める 【目標値】 毎回10人	【内容】 多言語交流サロンの実施 毎週木曜日 午後7時30分～9時 男女共同参画の視点に基づき、交流を通じて諸外国の実情等を認識し、お互いに理解を深める 開催回数43回、参加延べ人数267人(25年3月末現在)	【評価理由】 計画どおり実施したが、目標値に達しなかったため。	B			B